

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 福岡県北九州市若松区北湊町13番1号

団体名 AGCエスアイテック株式会社

代表者 代表取締役社長 古川 考則

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)		えーじーえすあいてっく かぶしきかいしゃ
団体名		AGCエスアイテック 株式会社
(ふりがな)		ふるかわ たかのり
代表者氏名		古川 考則
所在地	市内事業所	北九州市若松区 北湊町13番1号
	主たる事業所	福岡県北九州市若松区北湊町13番1号
事業概要		珪酸ソーダ、ファインシリカ製品及び応用製品の設計・開発、製造及び販売
企業・NPO法人等の別		企業
業種（企業のみ）		製造業
従業員数（企業のみ）		101～300人
ホームページの有無		有
ホームページURL		https://www.agc-sitech.com/

連絡先


担当部署	企画管理室 総務グループ 総務人事チーム
担当者	大淵 寛士
電話番号	093-761-1135
メールアドレス	kanji.ofuchi@agc.com

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）

団体名 AGCエスアイテック 株式会社

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な 取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市基本計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					環境負荷の低い溶媒(副原料)への変更を推進。更に溶媒のリユースに取り組んでいる。エネルギー使用状況は毎月モニタリングし、省エネ確認調査を活用し、削減に努めている。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	⑬
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	北九州優良認定産業廃棄物排出事業者・処理認定制度					ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	⑪
3	事業に伴う調達（原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等）について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					監査等を実施し、調達先で児童労働や強制労働がないことを確認。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール8	⑪
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					クレームおよび社内不適合の解析・レビューを実施し、品質改善・向上に努めている	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					マイクロビーズ*代替品提供、廃棄物が少ない分級レス製品の開発、包装PE袋の枚数削減を推進。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	⑪
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底。適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出。勤怠管理システムにより労働時間を正確に把握。在宅勤務、フレックスタイム、労使で残業削減（20H未満/月）などの柔軟な勤務体制を実施。育児・介護休業法に基づき就業規則に「子どもの看護休暇」を規定。妊娠中の従業員、介護に従事する従業員に対する短縮勤務制度を導入。従業員が介護離職をしないですむように、休職、復職、再雇用の制度を導入。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール5	②
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組み、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働・同一賃金を実施。従業員の人事評価を平等にするため、成果の達成度を重要視した評価制度を採用。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守。ハラスメントに対する相談窓口を設置。ハラスメントについての社内研修を実施。ハラスメント問題について、弁護士や社労士に相談できる体制を構築。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	⑪
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施。従業員に対して、定期的に健康診断を実施。健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施。社内において分煙を実施。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	⑩
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					人事制度を見直し各自の目標、学習の機会を設定し易くすることを推進。また、人材育成のためのOJTとOFF-JT のプログラムを用意。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	②
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報 の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					反社会的勢力に対する基本方針、贈収賄防止と公正な取引に関する方針、個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員に周知。	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	⑬
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					BCP（事業継続計画）を策定。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	②
								13.1	12

※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

(様式 2)

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 7年 7月 29日
 団体名 AGCエスアイテック株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は「AGCエスアイテックは自然を循環するシリカでお客様の夢に挑戦します。」キャッチフレーズに掲げ、統合マネジメント方針（別紙参照）を推進しています。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を 目指す分野 に「○」		SDGs 達成に向けた 重点的な取組	指標（KPI）・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係		最も関連性のある 「北九州市基本計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載でも可
経済		事業活動等から発生する廃棄物の管理及び 処理の実施	指標 (KPI)		稼げる まち	○	指標
社会			目標値		彩りあ るまち		⑪ 市内総生産額
環境	○		その他 (その他の場合) 2030年	北九州優良認定産業廃 棄物排出事業者として 活動を維持する。	安らぐ まち		具体的な取組
経済		長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働 き方の導入など、良好な労働環境の整備	指標 (KPI)	残業 20時間/月末未満	稼げる まち		10 「北九州グリーンインパクト」の推進
社会	○		目標値		彩りあ るまち		⑩ 健康寿命
環境			その他 (その他の場合) 各 年	労働組合と協議しなが ら労働環境の整備を推 進	安らぐ まち	○	32 生涯現役にに向けた健康づくりや社会参加の推進
経済	○	人事制度を見直し各自の目標、学習の機会を 設定し易くすることを推進。また、人材育成のため のOJTとOFF-JT のプログラムを用意	指標 (KPI)		稼げる まち	○	指標
社会			目標値		彩りあ るまち		① 市内総生産額
環境			2030年 (その他の場合) () 年	ES調査で従業員満足度 UP	安らぐ まち		具体的な取組
							12 生産性向上・高付加価値化の推進

記載について

- ・「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3 つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
（1 つの取組みで 3 つの分野を達成しても、複数の取組みで 3 つの分野を達成しても構いません）
- ・指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

(様式3)

SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて

団 体 名： AGCエスアイテック株式会社

SDGsの達成や地域課題の解決に、パートナーシップを通じて取り組むために、自らの組織が提供できる価値や必要としているものについて記入してください。

◆1)自らの組織が提供できる価値(商品・サービス・ノウハウ)

誰の (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	どんな課題に対して どんなSDGsゴールに対して	何を使って	何ができるか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
企業、自治体、研究機関、NPO法人	持続可能な産業の促進、環境技術の革新	専門的な技術/ノウハウ	自社の長年の製品や開発経験を活かし、環境に配慮した新技術の共同研究や製品改良で資源循環を支援	共同研究
				技術革新
				環境改善
				資源循環

◆2)自らの組織が必要としているもの(商品・サービス・ノウハウ・連携先)

解消したい地域課題・達成したいSDGs目標	自分たちの組織に不足している要素 (人材・製品・サービス・ノウハウ・技術・連携先・資金)	どのような利害関係者と (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	課題を解決するために何をしたいか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
地域の持続可能な社会の推進	最新の市場動向や先端技術の情報	企業・自治体・団体など	市場情報を共有し、共同プロジェクトを通じた製品改良および新規事業開発を推進していくことで持続可能な社会を目指す	連携強化
				イノベーション
				持続可能な社会
低炭素社会及び循環社会の実現	研究開発パートナーの不足	大学、研究機関など	共同研究により、新素材や新技術の開発、システム構築を共同で進めることで、低炭素化や資源循環を実現する取り組みを展開	共同研究
				技術交流
				脱炭素
				資源循環

記載について
・1)および2)の各項目について具体的な内容を記載して下さい。